SPEEDIA GE5000シリーズ

ユーザーズマニュアル 設定メニュー編

プリンターの操作パネルで設定できる各種機能について
記載されています。

T-984PA-2
MA1009-B　2010年9月24日　第2版発行

CASIO®

目次

ご注意

(1)　本書の内容の一部または、全部を無断転載することを禁止します。

(2)　本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。最新版の説明書が弊社ホームページからダウンロードできる場合がありますのでご活用ください。説明書の改定に伴い、参照先のページがズレる場合があります。あらかじめご了承ください。

(3)　本書に記載されなかった最新の情報がプリンタードライバーのヘルプもしくはテキストファイルなどに記載されることがあります。　その他最新の製品情報やプリンタードライバーのダウンロードサービスをインターネットで提供しております。

http://casio.jp/ppr/

(4)　本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。

(5)　運用した結果の影響につきましては、(4)項にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

(6)　本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、当社のもの以外の第三者による修理・改造および当社純正品の以外のオプションまたは消耗品を使用したことなどに起因して生じた障害、およびトラブルなどにつきましては、当社は責任をおいかねますのでご了承ください。

(7)　「PC－PR201H」「２０１H」は日本電気株式会社の登録商標です。

(8)　「ESC/P」「ESC/Page」は、セイコーエプソン株式会社の商標です。

(9)　「Microsoft」、「Windows」は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

(10)　「Felica」はソニー株式会社の登録商標です。

(11)　「MIFARE」「I-CODE」は、NXP Semiconductors の商標です。

(12)　その他の社名および製品名等は、一般に各社の登録商標または商標です。

(13)　本文中またはソフトウェア上の記載には、必ずしも商標表示（®,™ マーク）を付記していません。

1．設定メニュー概要

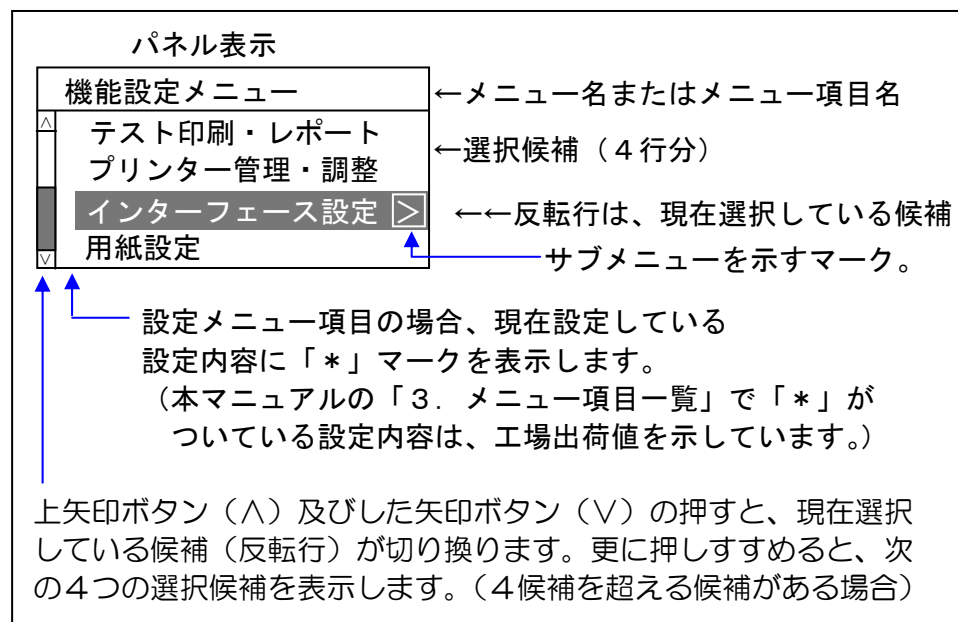
操作パネルで設定できる各種メニューとその操作について説明します。

１）メニューの開始

　プリンターが待機中（印刷データが無い状態）に、オンラインボタンを押すと、機能設定メニュー（メインメニュー）が表示されます。

２）メニュー表示と操作

　本設定メニューは階層構造のメニューを採用しており、メインメニュー→サブメニュー→…サブメニュー→設定メニュー項目もしくは実行メニュー項目の形式です。

　メニューのパネル表示は下図のように、先頭行にメニュー名またはメニュー項目名を表示し、２行目から選択候補を４行分（４候補分）表示します。

　反転表示されている行が現在選択している候補を示しています。
上矢印ボタン（∧）または下矢印ボタン（∨）を押すと、現在選択されている候補が上または下に移動します。４候補を超える候補がある場合、更に上矢印ボタン（∧）または下矢印ボタン（∨）を押し進めると、前のまたは次の４つの選択候補を表示します。

　現在選択している候補（反転行）がサブメニューの場合、右端に ▷ が表示されますので、右矢印ボタン（＞）を押して、メニューをすすめてください。反転行の右端に ▷ が表示されないときは、最後の設定メニュー項目もしくは実行メニュー項目ですので、◎ボタンを押して、設定もしくは実行を行います。

　左矢印ボタン（＜）を押すと、元のメニューに戻ります。ただし、メインメニュー（機能設定メニュー）では、何も動作しません。

３）メニューの終了

　設定が全て終了したら、オンラインボタンを押しオンライン待機状態に戻します。このときに、設定された内容をプリンター内部に記憶します。オンラインボタンを押さないでプリンターの電源を OFF した場合、設定した内容はプリンター内部に記憶されておらず、次回の電源 ON 以降も元の設定内容のままとなりますので、ご注意願います。

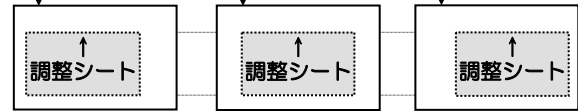
2. 階層メニューの構造

3. メニュー項目一覧を参照
メインメニュー
機能設定メニュー
テスト印刷・レポート
プリンター管理・調整
インターフェース設定
用紙設定
印刷設定
機器設定
エミュレーション設定
テスト印刷・レポート
機器情報印刷
機器状態表示
印刷枚数表示
プリンター管理・調整
交換部品初期化
印刷位置調整
キャリブレーション
自動補正値初期化
定着速度補正
レジスト補正
濃度補正
印刷濃度
消耗品予告
警告エラー解除
予告エラー解除
期初日
特定ユーザー設定
特定ユーザー解除
初期化
印刷位置調整
MPF１～２,
カセット１～５
位置調整<給紙口>
調整印刷
表面･横位置調整
表面･縦位置調整
裏面･横位置調整
裏面･縦位置調整
定着速度補正
ぶれ補正
長尺紙後端部補正
チャート印刷
印刷濃度
ブラック,シアン
マゼンタ,イエロー
インターフェース設定
通信速度
通信方法
ＩＰアドレス
ポート切換え時間
機器状態応答（USB)
受信データチェック
1)テスト印刷･レポートメニュー
機器情報印刷へ
機器情報表示へ
印刷枚数表示へ
2)プリンター管理･調整メニュー
交換部品初期化へ
給紙口毎の印刷位置調整の
調整印刷へ
表面・横調整へ
表面・縦調整へ
裏面・横調整へ
裏面・縦調整へ
キャリブレーションへ
自動補正値初期化へ
定着速度補正の
ぶれ補正へ
長尺紙後端部補正へ
チャート印刷へ
レジスト補正へ
濃度補正へ
各色の印刷濃度調整へ
消耗品予告へ
警告エラー解除へ
予告エラー解除へ
期初日へ
特定ユーザー設定へ
特定ユーザー解除へ
初期化へ
3)インターフェース設定メニュー
通信速度へ
通信方法へ
ＩＰアドレスへ
ポート切換え時間へ
機器状態応答（ＵＳＢ）へ
受信データチェックへ

3. メニュー項目一覧を参照
メインメニュー
機能設定メニュー
テスト印刷・レポート
プリンター管理・調整
インターフェース設定
用紙設定
印刷設定
機器設定
エミュレーション設定
用紙設定
給紙口選択
自動給紙口対象
自動用紙サイズ
MPF２通紙動作
MPF１用紙サイズ
MPF２用紙サイズ
Ｆｒｅｅ用紙
ユーザー定義用紙
紙種
普通紙
厚紙
MPFクリーニング
自動給紙口対象
MPF1～2，カセット1～5
Ｆｒｅｅ用紙
MPF1～2，カセット1～5
ユーザー定義用紙
ユーザー定義用紙１～８
紙種
MPF1～2，カセット1～5
ユーザー定義用紙ｎ
用紙名
横サイズ
縦サイズ
紙種
4）用紙設定メニュー
給紙口選択へ
自動給紙対象へ
自動用紙サイズへ
MPF２通紙動作へ
MPFｎ用紙サイズへ
Ｆｒｅｅ用紙へ
ユーザー定義用紙の
用紙名へ
横サイズへ
縦サイズへ
紙種へ
給紙口毎の紙種へ
普通紙設定へ
厚紙設定へ
MPFクリーニングへ
印刷設定
両面印刷
カラー印刷
エコノミー印刷
縮小印刷
用紙方向
リバース印字
印刷部数
コピーガード
ＩＤ印刷
エコレベル印刷
付加情報印刷
割り込み印刷
認証ジョブ保存期間
ＪＡＭリカバリー
白紙節約
M／Mカラー指定
両面印刷
印刷形態
自動片面
エコノミー
トナーセーブ
エコノミー印刷
エコノミー枚数
リバース印字
横
縦
付加情報印刷
印刷位置
印刷濃度
5）印刷設定メニュー
両面印刷：印刷形態へ
両面印刷：自動片面へ
カラー印刷へ
エコノミー
トナーセーブへ
エコノミー印刷へ
エコノミー枚数へ
縮小印刷へ
用紙方向へ
リバース印字の
横へ
縦へ
印刷部数へ
コピーガードへ
ＩＤ印刷へ
エコレベル印刷へ
付加情報印刷の
印刷位置へ
印刷濃度へ
割り込み印刷へ
認証ジョブ保存期間へ
ＪＡＭリカバリーへ
白紙節約へ
M／Mカラー指定へ

メインメニュー
機能設定メニュー
テスト印刷・レポート
プリンター管理・調整
インターフェース設定
用紙設定
印刷設定
機器設定
エミュレーション設定
機器設定
ブザー音量
ＬＣＤ濃度
節電
立ち上げモード
低稼働音モード
日付と時刻
ハードディスク
ＩＣカードの種類
節電
形態
レベル
移行時間
自動電源 OFF
強制電源 OFF
強制電源 OFF
動作
時刻１～３
3. メニュー項目一覧を参照
6）機器設定メニュー
ブザー音量へ
ＬＣＤ濃度へ
節電の
形態へ
レベルへ
移行時間へ
自動電源OFFへ
強制電源OFFの
動作へ
時刻へ
立ち上げモードへ
低稼働音モードへ
日付と時刻へ
ハードディスクへ
ＩＣカードの種類へ
付録1. エミュレーション詳細を参照
7）エミュレーション設定メニュー
エミュレーションへ
エミュレーション詳細へ
エミュレーション設定
エミュレーション
エミュレーション詳細

3. メニュー項目一覧表

1）テスト印刷・レポートメニュー

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
テスト印刷・レポート 機器情報印刷	≪機器情報印刷≫ ステータスシート ステータスシート･両面 ステータスシート２ カウンター印刷 ネットワーク設定	←ステータスシート印刷（片面） ←ステータスシート印刷（両面） ←ステータスシート２の印刷（片面） ←印刷枚数の印刷（片面） ←ネットワーク設定情報の印刷（片面） ※ステータスシート２は、エミュレーション設定の詳細や、Web で設定する権限等その他の項目を印刷します。	◎ボタン押下して印刷している間は、「印刷中」又は「両面印刷中」を表示します。 ※ステータスシート・両面印刷は、ステータスシートとステータスシート２を、両面で印刷します。 ※各印刷はＡ４（横送り）用紙に印刷しますので、予めカセットにＡ４用紙をセットしてください。但しステータスシートの印刷は、「用紙設定」→「給紙口選択」で現在設定されている給紙口のカセットに、Ａ４用紙をセットしてください。 ※「ステータスシート」･「ステータスシート･両面」･「ステータスシート２」の印刷では、現在設定されているコピー枚数分、印刷されます。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
テスト印刷・レポート 　機器情報表示	≪機器情報表示≫ 　ネットワーク 　本体	 ←ネットワーク設定情報表示 ←機器本体情報表示	◎ボタン押下すると各情報が表示されます。 ネットワーク 　IP　197.1.58.44 　MAC 08:00:99:99:99:99 本体 　RIP: GE0K1.01/L05 　ENG: BAXXXX 　SER: 3060XXX 　LC.　3000 左ボタン（<）で、メニューに戻ります。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
テスト印刷・レポート 印刷枚数表示	＜印刷枚数＞ カラー印刷枚数 モノクロ印刷枚数	 ←用紙サイズ毎のカラー印刷枚数表示 ←用紙サイズ毎のモノクロ印刷枚数表示	右ボタン（＞）を、押下すると各情報が表示されます ≪カラー印刷枚数表示≫ ≪モノクロ印刷枚数表示≫ A3 1,000,000 枚　A3 1,000,000 枚 B4 1,000,000 枚　B4 1,000,000 枚 A4 1,000,000 枚　A4 1,000,000 枚 B5 1,000,000 枚　B5 1,000,000 枚 A5 1,000,000 枚　A5 1,000,000 枚 長尺紙 1,000,000 枚　長尺紙 1,000,000 枚 その他 1,000,000 枚　その他 1,000,000 枚 左ボタン（＜）で、メニューに戻ります。

2）プリンター管理・調整メニュー

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
プリンター管理・調整 交換部品初期化	≪交換部品初期化≫ 定着ユニット 転写ベルトユニット 廃トナーボックス	定着ユニット／転写ベルトユニット／廃トナーボックスを交換した時、各部品の初期調整や管理情報の初期設定を行います。	実行中は、以下のメッセージが表示されます。 「定着ユニット　←選択した部品名 交換後の調整中」 終了すると元のメニュー表示に戻ります。 （数分程度の時間がかかる部品もあります。） ※本メニューを実行しない場合、レジストずれなどの不具合の発生や、残量表示やオペレータコールなどが正しく動作しないことがあります。 定着ユニット／転写ベルトユニット／廃トナーボックスを交換した時は、必ず本メニューを実行してください。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
プリンター管理・調整 印刷位置調整 ■■■■■ （ＭＰＦ１～２ カセット１～５） 調整印刷	≪調整印刷■■■■■≫ 片面印刷 両面印刷	指定給紙口より給紙して調整シートを、 ←片面で印刷します。 ←両面で印刷します。	■■■■■…給紙口が表示されます。 （ＭＰＦ１～２ カセット１～５） 調整シートに印刷された画像を見て、印刷位置の調整を行ってください。 ※ＭＰＦ２，及び、カセット３～５は、装着時に表示されます。
プリンター管理・調整 印刷位置調整 ■■■■■ （ＭＰＦ１～２ カセット１～５） 表面・横調整 表面・縦調整 裏面・横調整 裏面・縦調整	≪表･横調整■■■■■≫ ＋１０．０mm ＊　０．０mm －１０．０mm	横調整 ：表面／裏面の印刷開始位置を左右方向にずらす量を給紙口毎に設定します。マイナス値は用紙左端方向に、プラス値は用紙右端方向に印字領域がずれます。 縦調整 ：表面／裏面の印刷開始位置を上下方向にずらす量を給紙口毎に設定します。マイナス値は用紙上端方向に、プラス値は用紙下端方向に印字領域がずれます。 ずらし量は、－10.0～+10.0mm（0.1mm単位）の範囲内で設定します。 工場出荷値は、０mm	<用紙と印刷画像の印字位置の関係> 横調整 調整シート　調整シート　調整シート マイナス(－)値　０の時　プラス(＋)値 ※横調整の値によっては、印刷内容の一部（左／右）が印刷されない事もあります。 縦調整 調整シート　調整シート　調整シート マイナス(－)値　０の時　プラス(＋)値 ※縦調整の値によっては、印刷内容の一部（上／下）が印刷されない事もあります。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
プリンター管理・調整 キャリブレーション	≪キャリブレーション≫ 全て実行 レジスト補正実行 濃度補正実行	キャリブレーションを実行します。 ←レジスト補正・濃度補正、両方共実行。 ←レジスト補正を実行。 ←濃度補正を実行。	◎ボタンを押下すると、キャリブレーションを即時実行します。（｢実行中｣が表示されます。） レジスト調整は、各色の印字位置を調整して、色ズレを少なくします。通常は自動で実行されていますので、この操作を行う必要はありません。 「プリンター管理・調整メニュー」→「**レジスト補正**」又は「**濃度補正**」のメニューで自動補正を「行わない」にしている場合は、本操作で調整する事ができます。 ※トナー残量が約１％以下の場合、濃度補正・レジスト補正は実行されません。
プリンター管理・調整 自動補正値初期化	≪自動補正値初期化≫ 全て初期化 レジスト補正値初期化 濃度補正値初期化	自動補正値を初期化します。 ←レジスト／濃度補正値の両方を初期化 ←レジスト補正値を初期化。 ←濃度補正値を初期化。	◎ボタンを押下すると、即時、補正値を初期化します。補正値初期化中は、｢補正値初期化中｣を表示します。 ※自動補正初期化は、自動補正されたレジスト値・濃度値を初期化して、工場出荷状態の値にします。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
プリンター管理・調整 定着速度補正 ぶれ補正	≪ぶれ補正≫ －８～＋７	定着ユニットにおける基準となる用紙搬送速度の補正値を設定します。 －８～＋７の範囲で設定。（１きざみ）	定着ユニットにおける基準となる用紙搬送速度を補正する機能です。定着部の用紙搬送速度を調整することにより画像後端ブレを改善することができます。＋方向の値にすると定着の基準用紙搬送速度を速くする事により、画像後端ブレを改善することができます。＋方向の値に設定し過ぎた場合、色ずれが生じることがあります。 ※「＊」は現在設定されている値を示します。
プリンター管理・調整 定着速度補正 長尺紙後端部補正	≪長尺紙後端部補正≫ －８～＋７	定着ユニットにおける長尺紙後端部の用紙搬送速度の補正値を設定します。 －８～＋７の範囲で設定。（１きざみ）	定着ユニットにおける長尺紙の後端部の用紙搬送速度を補正する機能です。長尺紙で印字擦れや画像後端ブレが出る場合、用紙の定着前のたわみ量を少なくし、定着前の画像擦れや画像後端ブレを改善することができます。 ＋方向の値にするとたわみ量が少なくなり、画像擦れやブレを改善できます。但し、＋方向に設定し過ぎると色ずれが生じることがあります。この場合－方向の値に戻すことで改善されます。また、－方向の値に設定し過ぎるとたわみ量が多くなり、画像擦れやブレの原因となります。 ※「＊」は現在設定されている値を示します。
プリンター管理・調整 定着速度補正 チャート印刷	≪チャート印刷≫ A3（２枚 カセット１） 長尺紙　600mm 長尺紙　900mm 長尺紙１２00mm	定着速度補正の確認用チャートを印刷。 ←A3 用紙にカセット１より２枚 ←長尺紙 600mm に MPF1 より 1 枚 ←長尺紙 900mm に MPF1 より 1 枚 ←長尺紙 1200mm に MPF1 より 1 枚 印刷します。	◎ボタンを押下すると、指定のチャートを、厚紙モードで印刷します。（「印刷中」を表示。）

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
プリンター管理・調整 レジスト補正	≪レジスト補正≫ 行わない ＊行う	レジスト自動補正（自動調整）を行うかどうかを設定します。	レジスト補正について…各色の印字位置を調整して、色ズレを少なくする機能です。 以下の場合、レジスト自動補正は行われません。 ・トナー残量が約１％以内のとき ・ベルト交換のとき
プリンター管理・調整 濃度補正	≪濃度補正≫ 行わない ＊行う	濃度自動補正（自動調整）を行うかどうかを設定します。	以下の場合、濃度自動補正は行われません。 ・トナー残量が約１％以内のとき ・ベルト交換のとき
プリンター管理・調整 印刷濃度 ブラック（K） シアン　（C） マゼンタ（M） イエロー（Y）	≪印刷濃度　（K）≫ ＋5 ＊　0 －5	ブラック（K）、シアン（C）、マゼンタ（M）、イエロー（Y）、各色の印刷濃度の微調整を行います（調整値の設定）。 ＋5～－5の範囲で設定します。 （1きざみ）	※通常は、設定の必要はありません。
プリンター管理・調整 消耗品予告	≪消耗品予告≫ ＊停止しない 一時停止する	トナー･ドラム交換予告などエラーを抑制するか否かを設定します。	
プリンター管理・調整 警告エラー解除	≪警告エラー解除≫ ＊解除しない 自動解除	警告エラー発生時の解除動作を設定します。 解除しない…◎ボタンを押すまで、エラーを表示し続けます。 自動解除……エラー発生後約２秒で自動的にエラースキップし､処理を継続します。	
プリンター管理・調整 予告エラー解除	≪予告エラー解除≫ ＊解除しない 自動解除	予告エラー発生時の解除動作を設定します。 解除しない…◎ボタンを押すまで、エラーを表示し続けます。 自動解除……エラー発生後約２秒で自動的にエラースキップし､処理を継続します。	取消可能な予告エラー発生時の解除動作を設定します。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
プリンター管理・調整 期初日	≪期初日≫ ＊4月1日	エコログの期初日を設定します。 日付を入力します。 （2月29日は入力不可です。） ※日付の入力方法は、「機器設定」→「日付と時刻」の説明／備考欄の「日付と時刻の設定方法」を参照してください。	**期初日を変更した場合、エコログは一時停止します。** 次のプリンター電源 ON 時に、期初日変更処理を行い、エコログを再開します。 **※期初日を変更した場合は、オンラインボタンを押下し、オンライン状態に戻した後、プリンターの電源をOFF→電源ONしてください。**
プリンター管理・調整 特定ユーザー設定	≪特定ユーザー設定≫ administrator user1 Administrator user2	ユーザー別エコログに自動登録されているユーザー名を一覧表示しますので、「ユーザー名＋ホスト名」と合成するユーザー名を選択して設定します。（候補選択後◎ボタンを押下して設定します。設定したユーザー名の先頭に＊が表示されます。） 特定ユーザーとして最大8個まで設定可能ですが、1つずつ登録してください。 （◎ボタン押下後、一旦、左矢印（＜）ボタンで「プリンター管理・調整メニュー」に戻り、再度「特定ユーザー設定」に進んでください。）	特定ユーザーとして設定すると、ユーザー名にコンピュータのホスト名を加えて、それをユーザー名として扱います。 （例）　ホスト名：host1 特定ユーザー名：admin ユーザー名：admin+host1 ※同一のユーザー名を複数のコンピュータで共用している場合、そのユーザー名を「特定ユーザー」として設定しておけば、ユーザー別の印刷枚数などを蓄積しているユーザー別エコログやパネルのユーザー名表示等で異なるユーザーとして区別することが可能になります。 ※大文字、小文字は区別されます。
プリンター管理・調整 特定ユーザー解除	≪特定ユーザー解除≫ administrator admin Administrator guest	特定ユーザーとして設定されている特定ユーザー名を一覧表示しますので、特定ユーザーを解除するユーザーを選択して◎ボタンを押下します。（解除されると、ユーザー名の先頭に＊が表示されます。）	特定ユーザーの解除も、1つずつ解除してください。 （◎ボタン押下後、一旦、左矢印（＜）ボタンで「プリンター管理・調整メニュー」に戻り、再度「特定ユーザー解除」に進んでください。）

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
プリンター管理・調整 初期化	≪初期化≫ 設定１（メニュー） 設定２（ネットワーク） 設定３（権限） エコログ スケジュールログ	プリンター内の設定情報･ログの初期化。 ←設定メニューの情報を初期化 ←ネットワークの設定情報を初期化 ←権限情報などの設定情報を初期化 ←エコログ情報を初期化 ←自動スケジュールログを初期化	◎ボタンを押すと各初期化を即時実行します ※設定１～３の設定初期化は、それぞれ現在登録している設定内容全てを初期化して工場出荷状態にします。 初期化中は、「設定初期化中」を表示します。 ※エコログ、及び、スケジュールログの初期化中は、「ファイル削除中」を表示します。 ※初期化実行中はプリンターの電源を切らないでください。電源が切れた場合、各設定情報やログの内容は保証されません。 【エコログの初期化について】 エコログを初期化した場合、エコログは一時停止します。次のプリンター電源 ON 時にエコログを再開します。 従って、エコログを初期化した場合は、オンラインボタンを押してオンライン状態に戻した後、プリンターの電源をＯＦＦ→電源ＯＮしてください。なお、エコログの初期化を行うと、ユーザー別エコログも初期化されます。 【スケジュールログについて】 １０分間隔の時間帯別の印刷実績を蓄積したログであり、自動節電スケジュール機能に使用します。スケジュールログを初期化した場合、この印刷実績のロギングを一時停止します。次の電源 ON 時に、ロギングを再開しますので、初期化を行った場合は、必ず、オンラインボタンを押下してオンライン状態に戻した後、プリンターの電源をＯＦＦ→電源ＯＮしてください。

３）インターフェース設定

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
インターフェース設定 通信速度	《通信速度》 ＊自動設定 １００M全二重 １００M半二重 １０M全二重 １０M半二重	ネットワーク通信速度設定を設定します ←自動設定（オートネゴシエイション） ←１００Ｂａｓｅ－Ｔｘ全二重 ←１００Ｂａｓｅ－Ｔｘ半二重 ←１０Ｂａｓｅ－Ｔ全二重 ←１０Ｂａｓｅ－Ｔ半二重	※本設定は次の電源 ON より有効になります。
インターフェース設定 通信方法	《通信方法》 メモリー ＲＡＲＰ ＢＯＯＴＰ ＊ＤＨＣＰ	ネットワーク通信方法を設定します。 ←固定ＩＰアドレス ←ＲＡＲＰ ←ＢＯＯＴＰ ←ＤＨＣＰ	※本設定は次の電源 ON より有効になります。
インターフェース設定 ＩＰアドレス	《ＩＰアドレス》 ＩＰ：xxx.xxx.xxx.xxx ＮＭ：xxx.xxx.xxx.xxx ＧＷ：xxx.xxx.xxx.xxx	←IP アドレス ←ネットマスク ←ゲートウェイ の設定をします。 ※本「ＩＰアドレス」メニュー項目は、通信方法がメモリーの場合のみ表示されます。 ※工場出荷値は、IP アドレス，ネットマスク，ゲートウェイとも、「０．０．０．０」です。	【設定方法】 1）現在設定されているアドレスが表示され、左端のフィールド（ドットで区切られた数値）の最下位桁にカーソル（下線）があります。 ２５５．２５５．２５５．２５５ ※カーソルのあるフィールドに入力できます。 2）∧、∨ボタンの押下により、０～２５５までの数値を入力します。 3）＞矢印ボタンを押下すると１つ右のフィールドへ移動します。１３２．２５５．２５５．２５５ 4）上記２及び３を繰り返し、各フィールドの数値を入力します。１３２．　１．２５５．２５５ 5）全フィールドの数値を入力し終わると、◎ボタンを押下します。これにより入力した値が設定されます。１３２．　１．６０．　１５ ※通信方法がメモリーに設定されている場合に、本設定は表示されます。 ※本設定は次の電源 ON より有効になります。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
インターフェース設定 ポート切換え時間	《ポート切換え時間》 ６００秒 ～ ＊　３０秒 ２０秒	インターフェースの自動切換え時間（ポート切換え時間）を設定します。 ２０秒～６００秒（１０秒きざみ）	※ポート切換え時間とは、データ受信がなくなってから受信待ちに入るまでの時間のことです。付録３「複数のインターフェース使用時の運用について」を参照してください。 ※HDD 搭載時、かつ「印刷設定」→「割り込み印刷」が「有効」の場合、本設定は無効となります（LAN・USB のマルチ受信を行います）。
インターフェース設定 機器状態応答（USB）	《機器状態応答（USB）》 行わない ＊行う	ＵＳＢ接続時、プリンター内の情報をホスト（PC）に応答するか／否かを設定します。	※プリントサーバー使用時は、「行わない」設定で使用することを推奨します。
インターフェース設定 受信データチェック	《受信データチェック》 行わない ＊行う	受信データチェックを行う／行わないを設定します。	※本設定は次の電源 ON 時より有効になります。

４）用紙設定メニュー

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
用紙設定 給紙口選択	《給紙口選択》 ＊自動 ＭＰＦ１ ＭＰＦ２ カセット１ カセット２ カセット３ カセット４ カセット５	給紙口(給紙装置）を設定します。 ←自動給紙 ←ＭＰＦ１（本体ＭＰＦ） ←ＭＰＦ２（ＭＰＣＰＦのＭＰＦ） ←カセット１ ←カセット２ ←カセット３ ←カセット４ ←カセット５	自動給紙について 「自動給紙対象」で設定した給紙口から、「自動用紙サイズ」で設定した用紙が入っている給紙口を自動で探し印刷する機能です。 ※ＭＰＦ２，及び、カセット３～５は、装着時に表示されます。
用紙設定 自動給紙対象 ■■■■■ （ＭＰＦ１～２ カセット１～５）	《自動対象　■■■■■》 ＊対象 非対象	給紙口毎に自動給紙の対象か否かを設定します。 ■■■■■…給紙口が表示されます。 （ＭＰＦ１～２ カセット１～５）	※自動給紙の対象が全く設定されていない場合（全て「非対象」の場合)、ＭＰＦ１を対象とします。 ※ＭＰＦ２，及び、カセット３～５は、装着時に設定できます。
用紙設定 自動用紙サイズ	《自動用紙サイズ》 Ａ３ Ｂ４ Ａ４Ｒ ＊Ａ４ Ｂ５ Ａ５ はがき レター 不定形	自動給紙動作時の用紙サイズを設定します。 ←Ａ３用紙 ←Ｂ４用紙 ←Ａ４用紙（縦置き） ←Ａ４用紙（横置き） ←Ｂ５用紙 ←Ａ５用紙 ←郵便はがき ←レター ←不定形用紙	（参考）はがきの寸法 郵便はがき：100×148mm 私製はがき：短辺 90～107mm×長辺 140×154mm （重量２～６g）

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
用紙設定 ＭＰＦ２通紙動作	《ＭＰＦ２通紙動作》 ＊指定用紙サイズ 　Ａ３ 　Ｂ４ 　Ａ４	ＭＰＦ２給紙時の通紙サイズを設定します。 ←ＭＰＦ用紙サイズで設定されたサイズ ←Ａ３サイズで通紙制御を行います。 ←Ｂ４サイズで通紙制御を行います。 ←Ａ４サイズで通紙制御を行います。	※例えば、通紙サイズ＝A4 で、実際に給紙した用紙が A3 の場合、紙詰まりします。本項目を「A3」にしておけば、A3 以下の用紙を通紙しても紙詰まりしません。このようなサイズ違いによる紙詰まりを回避することができます。 ※両面印刷の場合は、「指定サイズ」を設定してください。「指定サイズ」以外を設定すると片面印刷となります。 ※ＭＰＦ２は装着時設定できます。 ※ＭＰＦ１は指定サイズ固定で動作します。 （ＭＰＦ１には、通紙動作設定はありません。）
用紙設定 ＭＰＦｎ用紙サイズ （ｎ＝１～２）	《ＭＰＦｎ用紙サイズ》 　Ａ３ 　Ｂ４ 　Ａ４Ｒ ＊Ａ４ 　Ｂ５ 　Ａ５ 　はがき 　レター 　不定形	ＭＰＦｎの用紙サイズを設定します。 ←Ａ３用紙 ←Ｂ４用紙 ←Ａ４用紙（縦置き） ←Ａ４用紙（横置き） ←Ｂ５用紙 ←Ａ５用紙 ←郵便はがき ←レター用紙 ←不定形用紙	※ＭＰＦ２は装着時に設定できます。 （参考）はがきの寸法 郵便はがき：100×148mm 私製はがき：短辺 90～107mm×長辺 140×154mm （重量２～６g）

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
用紙設定 Ｆｒｅｅ用紙 ■■■■■ （ＭＰＦ１～２ カセット１～５）	《Ｆｒｅｅ用紙■■■■■》 未定義 Ｂ６ はがき 往復はがき 長形３号 長形４号 洋形１号 レター Ｂ６ハーフ その他候補として ユーザー定義用紙１～８の用紙名	給紙口毎の不定形の用紙サイズを設定します。 ←未定義 ←Ｂ６用紙（横置き） ←郵便はがき（縦置き） ←郵便往復はがき（横置き） ←封筒（長形３号） ←封筒（長形４号） ←封筒（洋形１号） ←レター ←B6 ハーフ ←ユーザー定義用紙１～８の用紙名 ※ユーザー定義用紙名１～８は、 「用紙設定」→「ユーザー定義用紙」にて設定されているユーザー定義用紙のうち、 ＭＰＦ１，２ …横サイズが 64mm 以上 カセット１ …横サイズが 64mm または 90mm 以上、かつ縦サイズが 432mm 以下 カセット２～５ …横サイズが 210mm 以上、かつ、縦サイズが 432mm 以下 のユーザー定義用紙が、選択候補として表示されます。	※カセット２～５の場合の表示は、 《Ｆｒｅｅ用紙カセットｎ》 未定義 はがき その他候補として ユーザー定義用紙１～８ ※ＭＰＦ２，及び、カセット３～５は、装着時に表示されます。 縦送り／横送りについて MPF の場合 横送り　縦送り カセットの場合 横送り　縦送り

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
用紙設定 ユーザー定義用紙 ユーザー定義用紙ｎ （ｎ＝１～８） 用紙名	《ユーザーｎ用紙名》 ■■■■■■	ユーザー定義用紙 ｎ（ｎ＝１～８）の名称を設定します。 ■■■■■■の６文字を２０ｈ～７Ｄｈ，Ａ１ｈ～ＤＦｈの文字で定義します。 但し他と重複する登録は不可です。 **※Web 設定にて、漢字(全角文字)が登録されている場合は、表示のみで入力できません。** **用紙名に漢字(全角文字)を使用する場合は、Web 設定にて入力してください。**	【用紙名の入力方法】 １．表示パネルに、現在設定されている文字列(６文字)が表示され先頭の文字が反転します。 ー ２．上、下矢印ボタン（△、▽）を押下する事により英数字・カタカナ・記号（２０ｈ～７Ｄｈ，Ａ１ｈ～ＤＦｈの範囲）の文字に順次変わります。 これにより文字を入力します。 ヤ ３．右矢印（＞）ボタンを押下すると２文字目の文字へカーソルが移動します。 ヤ_ ４．上記２及び３を繰り返し、各文字を入力します。 ５．全文字入力し終わると◎ボタンを押します。この◎ボタン押下により、入力した値が設定されます。 ヤクタイＰ３ ※６文字目にカーソルがある状態で再度、右矢印（＞）ボタンを押下すると先頭文字にカーソルが移動します。 ヤクタイＰ３　（３→ヤに移動）

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
用紙設定 ユーザー定義用紙 ユーザー定義用紙n（n=1～8） 横サイズ	《ユーザーn　横サイズ》 ９９９．９mm	ユーザー定義用紙ｎ（１～８）の横サイズを設定する。64mm～297mm の範囲で、小数点第１位までの値を設定します。	【用紙サイズの入力方法】 １．表示パネルに、現在設定されている長さが表示され、最上位桁（百の位）の数字が反転されます。　＿　０．０mm ２．∧、∨ボタンの押下により、数字入力します。 ３．右矢印（＞）ボタンを押下すると２桁目（十の位）の数字が反転されます。　１＿０．０mm ４．上記２及び３を繰り返し、数字を入力します。 ５．整数部３桁と小数部１桁の入力が終了すると、◎ボタンを押下し入力した値を設定します。　１６８．５mm ※小数部１桁にある状態で右矢印（＞）ボタンを押下すると、百の位の数字が反転します。　１６８．５mm ※また一の位にカーソルがある状態で右矢印（＞）ボタンを押すと、小数１桁目の数字が反転します。（小数点･単位はスキップ）
用紙設定 ユーザー定義用紙 ユーザー定義用紙n（n=1～8） 縦サイズ	《ユーザーn　縦サイズ》 ９９９９．９mm	ユーザー定義用紙ｎ（１～８）の縦サイズを設定する。148mm～1200mm の範囲で、小数点第１位までの値を設定します。	
用紙設定 ユーザー定義用紙 ユーザー定義用紙n（n=1～8） 紙種	《ユーザーn　紙種》 給紙口の設定に従う 普通紙 カラー上質紙 両面用上質紙 厚紙 ごく厚紙 はがき・封筒 ラベル紙（厚手） ＯＨＰ	ユーザー定義用紙ｎの紙種を設定します。 ←設定する MPF･カセットの紙種に依存 ←64～69g/m2 ←70～79g/m2 ←80～94g/m2 ←95～128g/m2 ←129～216g/m2 ←はがき／封筒 ←ラベル紙（厚手） ←ＯＨＰシート	※ＭＰＦの場合、「給紙口設定に従う」以外が選択されても全てＭＰＦの紙種に依存します。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
用紙設定 紙種（給紙口選択） ＭＰＦｎ （ｎ＝１～２） 紙種	《ＭＰＦｎ紙種》 ＊普通紙 カラー上質紙 両面用上質紙 厚紙 ごく厚紙 はがき・封筒 ラベル紙（厚手） ＯＨＰ	給紙口毎の紙の種類（紙種）を設定します。 ←64～69g/m2 ←70～79g/m2 ←80～94g/m2 ←95～128g/m2 ←129～216g/m2 ←はがき／封筒 ←ラベル紙（厚手） ←ＯＨＰシート	ＭＰＦ１～２の紙種を設定します。 ※ＭＰＦ２が装着されていなくとも、 設定できます。
用紙設定 紙種（給紙口選択） カセット１ 紙種	《カセット１紙種》 ＊普通紙 カラー上質紙 両面用上質紙 厚紙 ごく厚紙 はがき・封筒 ラベル紙（厚手） ＯＨＰ	給紙口毎の紙の種類（紙種）を設定します。 ←64～69g/m2 ←70～79g/m2 ←80～94g/m2 ←95～128g/m2 ←129～216g/m2 ←はがき／封筒 ←ラベル紙（厚手） ←ＯＨＰシート	カセット１の紙種を設定します。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
用紙設定 紙種（給紙口選択） カセットｎ （ｎ＝２～５） 紙種	《カセットｎ紙種》 ＊普通紙 カラー上質紙 両面用上質紙 厚紙 ごく厚紙	給紙口毎の紙の種類(紙種)を設定します。 ←64～69g/m2 ←70～79g/m2 ←80～94g/m2 ←95～128g/m2 ←129～216g/m2	カセット２～５の紙種を設定します。 ※カセット３～５が装着されていなくとも、設定できます。
用紙設定 普通紙設定	《普通紙設定》 ＋５ ＊標準 －５	紙種が普通紙（64～69g/ m2）の場合の転写電圧を調整します。	用紙の種類や印刷方法（両面印刷）によって、ベタ画像やハーフトーン画像がかすれた時に設定を変更すると改善する場合があります。 ベタ画像がかすれる場合、＋方向に設定してください。 ハーフトーン画像がかすれる場合、－方向に設定してください。 通常は「標準」設定でご使用ください。
用紙設定 厚紙設定	《厚紙設定》 ＋５ ＊標準 －５	紙種が厚紙（95～128g/ m2）の場合の転写電圧を調整します。	
用紙設定 ＭＰＦクリーニング	《ＭＰＦクリーニング》 ＊行わない 行う	ＭＰＦからの印刷時に、転写ロールをクリーニングしながら印刷を行う／行わないを設定します。	指定したサイズより小さい用紙を使用すると、用紙の裏が汚れる場合があります。このような時、「行う」に設定すると、転写ロールをクリーニングしながら印刷しますので、裏汚れを防止できます。（印刷速度は低下します。）

5）印刷設定メニュー

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
印刷設定 　両面印刷 　　印刷形態	《印刷形態》 ＊片面 　両面横とじ 　両面上とじ	両面印刷する／しないかを設定します。 ←片面印刷（両面印刷しない）。 ←横綴じで両面印刷する。 ←上綴じで両面印刷する。	※横綴じ両面印刷時、表面の左余白は裏面の右余白となります。また、上綴じ両面印刷時、表面の上余白は裏面の下余白となります。
印刷設定 　両面印刷 　　自動片面	《自動片面》 ＊しない 　する	両面印刷指定されている時に１ページデータを受信した場合、両面印刷装置を経由しないで自動的に片面印刷にするか／しないかを設定します。	※両面印刷指定時に、２ページ以上にわたる印刷データを受信した場合は、本設定にかかわらず、必ず両面印刷を行います。
印刷設定 　カラー印刷	《カラー印刷》 ＊カラー印刷 　モノクロ印刷	カラー画像を生成するかモノクロ画像を生成するかを設定します	※「カラー印刷」を設定しても、印刷データがモノクロの場合は、モノクロ画像を生成しモノクロ印刷されます。 ※「機器設定」→「立上げモード」が「モノクロ専用」以外の場合は、本設定が有効になります。
印刷設定 　エコノミー 　　トナーセーブ	《トナーセーブ》 　９０％ 　　～ 　　１％ ＊ＯＦＦ	トナーの消費量を設定します。 ←セーブレベル９０％　（薄い） 　｜ ←セーブレベル１％　（やや薄い） ←通常の印刷　（適正）	※トナー消費量を減らした印刷の為、薄くなったり、印刷できない部分が発生することがあります。
印刷設定 　エコノミー 　　エコノミー印刷	《エコノミー印刷》 ＊行わない 　行う	エコノミー印刷を設定します。 行わない…カラー画像／モノクロ画像共にカラーモードで印刷します。 行う………カラー画像／モノクロ画像に応じて、カラーモード／モノクロモードを切り替えて印刷します。切替え方法は、「エコノミー枚数」で設定します。	画像がカラー画像かモノクロ画像かを自動判断して、自動的にカラーモードで印刷するか／モノクロモードで印刷するかを設定します。 ※カラーモード 　：ＫＣＭＹ４色のドラム・トナーを使用して印刷するモードです。 　モノクロモード 　：Ｋ１色のドラム・トナーを使用して印刷するモードです。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
印刷設定 エコノミー エコノミー枚数	《エコノミー枚数》 ２５５枚 ～ ＊　３枚 ～ ０枚	エコノミー印刷時のカラーモード／モノクロモードの切替え方法（カラーモードからモノクロモードに切り替えるまでのモノクロ画像の枚数）を設定します。 ０枚～２５５枚の指定が可能です。	※０枚 ：用紙１枚毎に、カラー画像であればカラーモードで、モノクロ画像であればモノクロモードで印刷します。 1～255 枚 ：モノクロ画像の場合、最後にカラー画像を印刷してから、指定枚数以内の用紙はカラーモードで印刷します。指定枚数を超えた用紙はモノクロモードで印刷します。 なお、カラー画像の場合は必ずカラーモードで印刷します。
印刷設定 縮小印刷	《縮小印刷》 ＊通常（ＯＦＦ） ８０％ ６９％	縮小印刷を設定します。 ←縮小印刷しない。 ←８０％に縮小して印刷します。 ←６９％に縮小して印刷します。	※ＥＳＣ／Ｐ、及び２０１Ｈで連続紙が選択されている場合は、縮小設定は無効です。
印刷設定 用紙方向	《用紙方向》 横 ＊縦	用紙方向を設定します。 ←横（ランドスケープ）で印刷します。 ←縦（ポートレート）で印刷します。	
印刷設定 リバース印字 リバース印字横	《リバース印字横》 ＊行わない 縦給紙の時行う 横給紙の時行う 行う	ランドスケープ時のリバース印字の設定 ←リバース印字しません。 ←縦給紙用紙(A3･B4 等)のみリバース印字。 ←横給紙用紙(A4 等)のみリバース印字。 ←用紙に関係なくリバース印字。	リバース印字…１８０°回転させて印刷します。 ※縦給紙…横長に用紙をセットします。 横給紙…縦長に用紙をセットします。
印刷設定 リバース印字 リバース印字縦	《リバース印字縦》 ＊行わない 縦給紙の時行う 横給紙の時行う 行う	ポートレート時のリバース印字の設定。 ←リバース印字しません。 ←縦給紙用紙(A3･B4 等)のみリバース印字。 ←横給紙用紙(A4 等)のみリバース印字。 ←用紙に関係なくリバース印字。	

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
印刷設定 印刷部数	《印刷部数》 ２５５部 ～ ＊　１部	複写枚数を設定します。 １枚～２５５枚指定できます。	
印刷設定 コピーガード	《コピーガード》 ＊行わない パターン１ ～ パターン１６ パターンＥＸ	コピーガード印刷の設定をします。 ←コピーガード印刷を行わない。 ←コピーガード印刷を行う（パターン１） ｜ ←コピーガード印刷を行う（パターン16） ←プリンタードライバー指定の任意パターンでコピーガード印刷を行う。	※コピーガード印刷は、パターン１～１６までの１６通りのコピーガード印刷を選択できます。 パターンEXを設定した場合、プリンタードライバー指定の任意のパターンでコピーガード印刷が可能です。
印刷設定 ＩＤ印刷	《ＩＤ印刷》 ＊行わない 行う	印刷にＩＤ情報を付加するか／しないかを設定します。	
印刷設定 エコレベル印刷	《エコレベル印刷》 ＊行わない 行う	エコレベルを示すマークを印刷するかどうかを設定します。	※エコレベル印刷を「行う」に設定しても、「両面印刷」「マルチページ」「トナーセーブ」が指定されていない印刷物には、エコレベルを示すマークは印刷されません。
印刷設定 付加情報印刷 印刷位置	《印刷位置》 ＊印刷領域外 印刷領域内	ＩＤ印刷・エコレベル印刷時の印刷位置を設定します	※領域外：用紙端２ミリの位置 領域内：用紙端５ミリの位置
印刷設定 付加情報印刷 印刷濃度	《印刷濃度》 ＊普通（薄い） 濃い	ＩＤ印刷・エコレベル印刷時の印刷濃度を設定します	

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
印刷設定 割り込み印刷	《割り込み印刷》 ＊無効 有効	割り込み印刷を有効とするかどうかを設定します。	割り込み印刷はＨＤＤ装着時のみ「有効」です。 ※「有効」の場合、ＨＤＤ経由で印刷データを受信するため処理速度が低下する場合があります。 ※本設定は次回電源 ON 時より有効になります。
印刷設定 認証ジョブ保存期間	《認証ジョブ保存期間》 ９９日２３時間４５分 ～ ＊００日０３時間００分	認証ジョブデータの保存期間を設定します。設定範囲は、００日００時間００分～９９日２３時間４５分 ※電源投入時又は、節電モード突入時に保存時間超過の認証ジョブデータを削除します。	保存期間を日、時間、分で入力します。
印刷設定 ＪＡＭリカバリー	《ＪＡＭリカバリー》 行わない ＊行う	紙詰まり復帰後の印刷ページの再印刷を設定します。	「行う」の場合、印刷の保証をします。 （印刷が重複する場合があります。） 「行わない」の場合、用紙を取り除いた後カバーを閉じると、自動的に印刷を再開しますが、プリンター内に残留していた頁の再印刷は行いません。
印刷設定 白紙節約	《白紙節約》 行わない 行う ＊従来互換で行う	白紙ページを印刷するか設定します。 ←白紙ページも印刷する。 ←白紙ページは印刷しない。 ←画像生成しない白紙ページは印刷しない。	
印刷設定 Ｍ／Ｍカラー指定	《Ｍ／Ｍカラー指定》 無効 ＊有効（互換） 有効（高品位）	モノクロ印刷中のカラーデータをグレースケール変換するかを設定します。 ←無効（変換しない）。 ←有効（粗いグレースケールに変換）。 ←有効（高品位グレースケールに変換）	

６）機器設定メニュー

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
機器設定 ブザー音量	《ブザー音量》 （消音）	ブザー音量を設定します。	
機器設定 ＬＣＤ濃度 （表示パネル）	《ＬＣＤ濃度》 ＋１２ ＊　０ －　８	表示パネル（液晶）の濃度を設定します。 （濃い） （標準） （薄い） －８～＋１２まで１きざみで 設定可能です。	
機器設定 節電 形態	《形態》 ＊スケジュール機能無効 スケジュール機能有効	節電スケジュール機能の有効／無効を設定します。	
機器設定 節電 レベル	《レベル》 レベル１ ＊レベル２	節電の度合いを設定します。 ←通常レベル ←最大レベル	
機器設定 節電 移行時間	《移行時間》 ２４０分 ～ ＊　１分	節電状態に入る迄の時間を設定します。 １分単位で、１～２４０分まで設定可能です。	※「節電」→「形態」→「スケジュール機能無効」に設定している場合のみ有効です。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
機器設定 節電 自動電源ＯＦＦ	《自動電源ＯＦＦ》 ＊使用しない 使用する	本プリンターをモニタリングしているＰＣがなくなった場合に自動的に電源ＯＦＦする機能を使用するかどうかを設定します。	※SPEEDIA マネージャーにて､｢切り忘れ防止｣「プリンターの自動電源 OFF 機能の対象とする」を指定している PC が全てなくなった場合に、プリンターの電源を OFF します。 ※ネットワーク（LAN）接続時、機能します。USB のみで接続している場合は、「使用しない」設定にしてください。 ※詳細は SPEEDIA マネージャーマニュアルを参照してください。
機器設定 節電 強制電源ＯＦＦ 動作	《動作設定》 ＊使用しない 使用する	指定の時刻を過ぎると、印刷データが無いことを確認した上で、強制的にプリンターの電源をＯＦＦする機能を使用するかどうかを設定します。	
機器設定 節電 強制電源ＯＦＦ 時刻ｎ （ｎ＝１～３）	《時刻設定ｎ》 ＊00 時 00 分	強制電源 OFF する時刻を設定します。 00 時 00 分～23 時 50 分	※ｎは１～３ ※「強制電源 OFF」→「動作」が「使用する」に設定されている場合に、本設定は有効となります。 ※00 時００分は、時刻設定を解除します。強制電源ＯＦＦは動作しません。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
機器設定 立ち上げモード	《立ち上げモード》 ＊カラー モノクロ モノクロ専用	プリンターの立ち上げモードを設定します。 ←カラー立ち上げ自動切換え。 ←モノクロ立ち上げ自動切換え。 ←モノクロ専用。	※モノクロ専用設定時はカラー印刷できません。 ※本設定は次回電源 ON 時より有効になります。
機器設定 低稼働音モード	《低稼働音モード》 ＊無効 有効	稼動音を低減するかどうかを設定します ←通常稼動音 ←印刷速度を低下させ稼動音を下げる	
機器設定 日付と時刻	《日付と時刻》 2010 年　1 月　1 日 23 時 59 分 59 秒	時計設定を行います。 ※日付と時刻は、◎ボタンを押した時に設定され、タイマーがスタートします。 ※設定の初期化を実行しても、日付と時刻は初期化されません。	【日付／時刻の設定】 1）表示パネルに現在設定の日付が表示されます。 ２０１０－０１－０１ 2）上矢印（∧）、下矢印（∨）ボタンを押して西暦を入力します。 ２０１０－０１－０１ 3）右矢印（＞）ボタンを押して月表示へ移動します。 ２０１０－０１－０１ 4）手順２と３を繰り返し、「月」「日」を入力します。 ２０１０－０６－０１ 5）入力が終わったら、◎ボタンを押します。 6）「日」に反転表示時に右ボタン（＞）を押すと「西暦」に移動します。 ２０１０－０６－２１ ※また、西暦表示の左の「＊」は非表示になります。 ※時刻も日付同様、「時」「分」「秒」の順に入力します。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
機器設定 ハードディスク	《ハードディスク》 フォーマット データチェック	ハードディスクに指定の処理を行います。 ←フォーマットを実行する。 ←データチェックを行う。	【ＨＤＤのデータチェック】 「データチェック」を選択し◎ボタンを押すとＨＤＤデータチェックを即時実行します。（「データチェック中」を表示。） データチェックの結果、エラーが検出された場合、エラーメッセージが表示されます。この場合、ＨＤＤフォーマットを行ってください。 【ＨＤＤフォーマット】 「フォーマット」を選択し◎ボタンを押すと下記メッセージが表示され、フォーマットを実行するかの確認を行います。 「フォーマットを実行しますか？」 ◎ボタンを再度押すと、フォーマットを実行します。（「フォーマット中」を表示） 左矢印ボタン（<）を押すと、フォーマットを中止し、ハードディスクのメニューに戻ります。 ※フォーマット中はプリンターの電源を切らないでください。ＨＤＤが破損する恐れがあります。 ※ＨＤＤ未装着時には、◎ボタンを押しても実行されません。
機器設定 ＩＣカードの種類	《ＩＣカードの種類》 ＊FeliCa TypeA（MIFARE） I-CODE SLI	ＩＣカードの種類を設定します。	※本設定はオプションのUSB 拡張ボード装着時に表示されます。 ※本設定は次回電源 ON 時より有効になります。 ※選択した種類が未対応のＩＣカードリーダーの場合は、ＦｅｌｉＣａの設定となります。

7）エミュレーション設定メニュー

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
エミュレーション設定 エミュレーション	《エミュレーション》 　２０１Ｈ ＊ＥＳＣ／Ｐ 　ＥＳＣ／Ｐａｇｅ	使用するエミュレーション・モードを設定します。	
エミュレーション設定 エミュレーション詳細	《エミュレーション詳細》 ＊表示しない 　表示する	エミュレーションの詳細を表示する／しないを設定します。 ※「表示する」と設定した場合は付録１　で示すメニューが表示されます。	

付録１. エミュレーション詳細

エミュレーション設定メニュー

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
エミュレーション設定	〔エミュレーション設定〕 エミュレーション エミュレーション詳細 ＨＤＡ ＥＳＣ／Ｐａｇｅ設定 ＥＳＣ／Ｐ設定 ２０１Ｈ設定 ヘキサダンプ	エミュレーションに対する設定項目 ←エミュレーション・モード設定 ←エミュレーションの詳細表示する/しない ←ＨＤＡ ←ＥＳＣ／Ｐａｇｅ ←ＥＳＣ／Ｐ ←２０１Ｈ ←ヘキサダンプを選択後、◎キーを押下すると、プリンターは、ヘキサダンプモードになります	※「エミュレーション詳細」を「表示する」と設定した場合のエミュレーション設定のメニューです。 【ヘキサダンプモードの設定】 ヘキサダンプを設定すると、オンライン状態となり、プリンターが受信するデータを全て１６進法で印刷します（ヘキサダンプモード）。 ◎ボタンを押すと、即時ヘキサダンプモードになります。 ヘキサダンプモード中は、表示パネルに ＊　ヘキサ　ダンプ　＊ が表示されます。 ヘキサダンプモードを終了するには、プリンターの電源をＯＦＦにします。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
エミュレーション設定 エミュレーション詳細	《エミュレーション詳細》 ＊表示しない **表示する**	エミュレーション詳細表示設定 ←詳細表示しない ←詳細表示する	**※本設定を､｢表示する｣と設定した場合に､以下のメニューが表示されます。**
エミュレーション設定 ＨＤＡ	《ＨＤＡ》 ＊無効 有効	１バイトのバイナリ・データを２バイトのテキストデータで転送する機能を有効にする／しないを設定します。	※オンライン環境で、バイナリ・データが送出できない場合に有効です。 ※エミュレーション詳細表示設定が、「表示する」の場合のみ表示されます。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
エミュレーション設定 ＥＳＣ／Ｐａｇｅ設定	<ＥＳＣ／Ｐａｇｅ設定> 自動復帰改行動作 改ページ動作 ＣＲ動作 ＬＦ動作 ＦＦ動作 エラーコード イメージパターン フォントタイプ スクリーン指定 スペース動作	ＥＳＣ／Ｐａｇｅの設定項目 ←自動復帰改行 ←自動改ページ ←ＣＲ動作 ←ＬＦ動作 ←ＦＦ動作 ←エラーコード ←イメージパターン ←フォントタイプ ←Ｃ／Ｍスクリーン指定 ←ＳＰ動作	※エミュレーション詳細表示設定が、「表示する」の場合のみ表示されます。
エミュレーション設定 ＥＳＣ／Ｐａｇｅ設定 自動復帰改行動作	《Ｇ　自動復帰改行動作》 しない ＊する	印刷データが印字領域の右端を超えた時に、自動的に復帰改行して次の行の先頭に印刷する／しないを設定します。	※「しない」の場合、印字領域の右端を超えたデータは切り捨てられます。
エミュレーション設定 ＥＳＣ／Ｐａｇｅ設定 改ページ動作	《Ｇ　改ページ動作》 しない ＊する	印刷データが改行のために印字領域の下端を超えた時に、自動的に改ページして次ページに印刷する／しないを設定します。	※「しない」の場合、印字領域の下端を超えたデータは切り捨てられます。
エミュレーション設定 ＥＳＣ／Ｐａｇｅ設定 ＣＲ動作 （キャリッジリターン）	《Ｇ　ＣＲ動作》 ＊ＣＲ ＣＲ＋ＬＦ	プリンターがCRコード(復帰、0x0D)を受信した時、復帰(ＣＲ)動作／復帰(ＣＲ)･改行(ＬＦ)動作、いずれの動作を行うかを設定します。	
エミュレーション設定 ＥＳＣ／Ｐａｇｅ設定 ＬＦ動作 （ラインフィード）	《Ｇ　ＬＦ動作》 ＬＦ ＊ＣＲ＋ＬＦ	プリンターがLFコード(改行、0x0A)を受信した時、改行(ＬＦ)動作／復帰(ＣＲ)･改行(ＬＦ)動作のいずれの動作を行うかを設定します。	

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
エミュレーション設定 ＥＳＣ／Ｐａｇｅ設定 ＦＦ動作（改ページ）	《Ｇ　ＦＦ動作》 ＦＦ ＊ＣＲ＋ＦＦ	プリンターがFFコード（改頁、0x0C）を受信した時、改頁(ＦＦ)動作／復帰(ＣＲ)・改頁(ＦＦ)動作のいずれの動作を行うかを設定します。	
エミュレーション設定 ＥＳＣ／Ｐａｇｅ設定 エラーコード	《Ｇ　エラーコード》 ＊ＯＦＦ ＯＮ	文字コード表にないコードを受信した時、 ←そのコードを無視 ←そのコードをスペースに置き換える	
エミュレーション設定 ＥＳＣ／Ｐａｇｅ設定 イメージパターン	《Ｇ　イメージパターン》 ＊１ ２	イメージパターンの補正を行うか／否かを設定します。 「１」：補正を行わない 「２」：補正を行う	
エミュレーション設定 ＥＳＣ／Ｐａｇｅ設定 フォントタイプ	《Ｇ　フォントタイプ》 ＊１ ２ ３	幅対高さが１対２の文字サイズを指定された場合、２バイト系文字の全角フォントと半角フォントの使用の優先度を設定します。 「１」：15Ｐ以下は半角フォント優先、15Ｐ以上は全角フォント優先 「２」：全角フォント優先で印刷 「３」：半角フォント優先で印刷	
エミュレーション設定 ＥＳＣ／Ｐａｇｅ設定 スクリーン指定	《Ｇ　スクリーン指定》 無効 ＊有効	カラーモード中にスクリーンパターン指定コマンド(GSn1tsE)を受信した時、スクリーンパターン指定を有効にするか／無効にするかを設定します。	モノクロで作成された印刷データをカラーで印刷する場合、データの中にスクリーンパターン指定コマンドが含まれていると、見づらい印刷になってしまう場合がある。このような場合、本設定を「無効」にしてください。
エミュレーション設定 ＥＳＣ／Ｐａｇｅ設定 スペース動作	《Ｇ　スペース動作》 しない ＊する	スペースコード（20h）を文字として扱うか否がを設定します。	

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
エミュレーション設定 ＥＳＣ／Ｐ設定	＜ＥＳＣ／Ｐ設定＞ 連続紙 給紙位置 自動復帰改行動作 右マージン 文字コード ゼロ字形 漢字書体 イメージ補正 自動排紙 カラー指定 スペース動作	ＥＳＣ／Ｐの設定項目 ←連続紙 ←給紙位置 ←自動復帰改行動作 ←右マージン ←文字コード ←ゼロ字形 ←漢字書体 ←イメージ補正 ←自動排紙 ←ＥＭカラー指定 ←ＳＰ動作	※エミュレーション詳細表示設定が、表示するの場合のみ表示されます。
エミュレーション設定 ＥＳＣ／Ｐ設定 連続紙	《Ｐ　連続紙》 ＊ＯＦＦ Ｆ１５－Ｂ４横 Ｆ１５－Ａ４横 Ｆ１０－Ａ４縦	連続用紙の印刷データを単票用紙に縮小印刷する方法を設定します。 ←縮小印刷しない ←15 ｲﾝﾁの連続用紙をＢ４横に縮小印刷 ←15 ｲﾝﾁの連続用紙をＡ４横に縮小印刷 ←10 ｲﾝﾁの連続用紙をＡ４縦に縮小印刷	※「印刷設定」→「縮小」の設定は無効となります。
エミュレーション設定 ＥＳＣ／Ｐ設定 給紙位置	《Ｐ　給紙位置》 ２２ミリ ＊８．５ミリ ５ミリ	用紙吸入時の上端余白を設定します。 ←上端余白を２２mm に設定 ←上端余白を８.５mm に設定 ←上端余白を５mm に設定	
エミュレーション設定 ＥＳＣ／Ｐ設定 自動復帰改行動作	《Ｐ　自動復帰改行動作》 しない ＊する	印刷データが印字領域の右端を超えた時に、自動的に復帰改行して次の行頭に印刷する／しないを設定します。	※「しない」の場合、印字領域の右端を超えたデータは切り捨てられます。
エミュレーション設定 ＥＳＣ／Ｐ設定 右マージン	《Ｐ　右マージン》 ＊用紙幅 １３６桁	右マージンを設定します。 ←指定した用紙の印字可能領域右端に設定 ←用紙サイズに関係なく、136 桁（13.6 インチ）に設定	※「１３６桁」設定時、用紙幅が１３.６インチ以下の場合、用紙幅を超えた部分のデータは印刷されません。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
エミュレーション設定 ＥＳＣ／Ｐ設定 文字コード	《Ｐ　文字コード》 ＊カタカナ グラフィック	英数カナ文字コード表を設定します。 ←カタカナコード表を設定 ←拡張グラフィックコード表を設定	
エミュレーション設定 ＥＳＣ／Ｐ設定 ゼロ字形	《Ｐ　ゼロ字形》 ＊０ θ	ゼロの字形を設定します。 ←ゼロを「０」で表わす ←ゼロを「Ø」（ゼロスラッシュ）で表わす	
エミュレーション設定 ＥＳＣ／Ｐ設定 漢字書体	《Ｐ　漢字書体》 ＊明朝体 ゴシック体	漢字の書体（明朝/ゴシック）を設定します。	
エミュレーション設定 ＥＳＣ／Ｐ設定 イメージ補正	《Ｐ　イメージ補正》 ＊１ ２	プリンター解像度が異なることによるイメージデータの補正方法を設定します。 ←標準の補正方法に設定 ←罫線が正しく接続していない時などに設定	※解像度補正を行う為、イメージデータによっては補正方法を変更しても若干くずれて印刷する場合があります。
エミュレーション設定 ＥＳＣ／Ｐ設定 自動排紙	《Ｐ　自動排紙》 ＊ＯＦＦ ３０秒 １５秒 ５秒	未印字データが残っている時、自動的に排紙するかを設定します。 ←自動排紙しない ←３０秒間変化無し時自動的に排紙 ←１５秒間変化無し時自動的に排紙 ←５秒間変化無し時自動的に排紙	※「変化無し」は、「プリンターにデータが来ない」事を示します。
エミュレーション設定 ＥＳＣ／Ｐ設定 カラー指定	《Ｐ　カラー指定》 無効 ＊有効	エミュレートモード（ＥＳＣ／Ｐ）中における、カラー選択コマンド（ＥＳＣ　ｒ）の有効／無効の設定をします。	
エミュレーション設定 ＥＳＣ／Ｐ設定 スペース動作	《Ｐ　スペース動作》 ＊しない する	スペースコード（20h）を文字として扱うか否かを設定します。	

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
エミュレーション設定 ２０１Ｈ設定	<２０１Ｈ設定> 連続紙 給紙位置 用紙位置 自動復帰改行動作 ＣＲ動作 ＬＦ動作 右マージン キャラクタモード 各国文字 ゼロ字形 漢字書体 イメージ補正 自動排紙 カラー指定 コード入れ替え スペース動作	２０１Ｈ設定項目 ←連続紙 ←給紙位置 ←用紙位置 ←自動復帰改行動作 ←ＣＲ動作 ←ＬＦ動作 ←右マージン ←キャラクタモード ←各国文字 ←ゼロ字形 ←漢字書体 ←イメージ補正 ←自動排紙 ←ＥＭカラー指定 ←コード入れ替え ←ＳＰ動作	※エミュレーション詳細表示設定が、表示するの場合のみ表示されます。
エミュレーション設定 ２０１Ｈ設定 連続紙	《Ｈ　連続紙》 ＊ＯＦＦ Ｆ１５－Ｂ４横 Ｆ１５－Ａ４横 Ｆ１０－Ａ４縦	連続用紙の印刷データを単票用紙に縮小印刷する方法を設定します。 ←縮小印刷しない ←15 ｲﾝﾁの連続用紙をＢ４横に縮小印刷 ←15 ｲﾝﾁの連続用紙をＡ４横に縮小印刷 ←10 ｲﾝﾁの連続用紙をＡ４縦に縮小印刷	※「印刷設定」→「縮小」の設定は無効となります。
エミュレーション設定 ２０１Ｈ設定 給紙位置	《Ｈ　給紙位置》 ２５．４ミリ ２２ミリ ＊　８．５ミリ ８ミリ ５ミリ	用紙吸入時の上端余白を設定します。 ←上端余白を２５．４㎜に設定 ←上端余白を２２㎜に設定 ←上端余白を８．５㎜に設定 ←上端余白を８㎜に設定 ←上端余白を５㎜に設定	

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
エミュレーション設定 ２０１Ｈ設定 用紙位置	《Ｈ　用紙位置》 ＊左 中央ー５ミリ 中央 中央＋５ミリ	横方向の印字範囲（１３６桁）のなかでの用紙位置を設定します。 ←左合わせに設定 ←中央合わせで、かつ左に5mm にずらす。 ←中央合わせに設定 ←中央合わせで、かつ右に5mm にずらす	※DOS アプリケーションの印字で、「PC-PR201H」シートフィーダ付き」を選択した場合、「中央」，「中央±５」のいずれかに設定してください。 ※「中央－5」は、用紙位置を左に 5mm ずらす為、印字位置は「中央」に比べ右に 5mm ずれます。同様に「中央+5」は、「中央 0」に比べ、左に 5mm ずれます。 ※左右マージン値によっては、左右の一部がきれてしまうことがあるので、注意してください。
エミュレーション設定 ２０１Ｈ設定 自動復帰改行動作	《Ｈ　自動復帰改行動作》 しない ＊する する（ＣＲのみ）	印刷データが印字領域の右端を超えた時に、自動的に復帰改行して次の行の先頭に印刷する／復帰のみ／しないを設定します。	※「しない」の場合、印字領域の右端を超えたデータは切り捨てられます。
エミュレーション設定 ２０１Ｈ設定 ＣＲ動作	《Ｈ　ＣＲ動作》 ＊ＣＲ ＣＲ＋ＬＦ	CR コード（復帰, 0x0D）を受信した時、復帰（CR）動作のみ／復帰（CR）・改行（LF）動作いずれの動作を行うか設定します。	
エミュレーション設定 ２０１Ｈ設定 ＬＦ動作	《Ｈ　ＬＦ動作》 ＬＦ ＊ＣＲ＋ＬＦ	LF コード（改行, 0x0A）を受信した時、改行（LF）動作のみ／復帰（CR）・改行（LF）動作いずれを行うかを設定します。	
エミュレーション設定 ２０１Ｈ設定 右マージン	《Ｈ　右マージン》 ＊用紙幅 １３６桁	右マージンを ←指定した用紙の印字可能領域右端に ←用紙サイズに関係なく、１３６桁（１３.６インチ）に設定	※「１３６桁」設定時、用紙幅が１３.６インチ以下の場合、用紙幅を超えた部分のデータは印刷されません。
エミュレーション設定 ２０１Ｈ設定 キャラクタモード	《Ｈ　キャラクタモード》 ＊８ビット ７ビット	７ビットコード／８ビットコードの設定をします。	

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
エミュレーション設定 ２０１Ｈ設定 各国文字	《Ｈ　各国文字》 ＊日本 アメリカ イギリス ドイツ スウェーデン	英数カナ文字コード表の 0x20～0x7F 内のコードを、指定の国に対応したデザインに変更します。	※「日本」以外の国を設定する際には、「キャラクタモード」を「7 ビットコード」に設定してください。
エミュレーション設定 ２０１Ｈ設定 ゼロ字形	《Ｈ　ゼロ字形》 ＊０ θ	ゼロの字形を設定します。 ←ゼロを「０」で表わす ←ゼロを「Ø」（ゼロスラッシュ）で表わす	
エミュレーション設定 ２０１Ｈ設定 漢字書体	《Ｈ　漢字書体》 ＊明朝体 ゴシック体	漢字の書体（明朝／ゴシック）を設定します。	
エミュレーション設定 ２０１Ｈ設定 イメージ補正	《Ｈ　イメージ補正》 ＊１ ２	プリンター解像度が異なることによるイメージデータの補正方法を設定します。 ←標準の補正方法に設定します。 ←罫線が正しく接続していない時などに設定します。	※解像度補正を行う為、イメージデータによっては補正方法を変更しても若干くずれて印刷する場合があります。
エミュレーション設定 ２０１Ｈ設定 自動排紙	《Ｈ　自動排紙》 ＊ＯＦＦ ３０秒 １５秒 ５秒	未印字データが残っている時、自動的に排紙するかを設定します。 ←自動排紙しない ←３０秒間変化無し時、自動的に排紙する ←１５秒間変化無し時、自動的に排紙する ←５秒間変化無し時、自動的に排紙する	※「変化無し」は、「プリンターにデータが来ない」事を示します。

メニュー項目	表示メッセージ	内容	説明／備考
エミュレーション設定 ２０１Ｈ設定 カラー指定	《Ｈ　カラー指定》 無効 ＊有効	カラーコマンド(ESC C)の有効／無効の設定をします。	
エミュレーション設定 ２０１Ｈ設定 コード入れ替え	《Ｈ　コード入れ替え》 ＊しない する	漢字コード表の文字並びを設定します。 ←ＪＩＳ９０の並び ←ＪＩＳ７８の並び	※JIS90 の並び、JIS78 の並び、いずれも、漢字文字の字形は JIS90 字形です。 ※する（JIS78 並び）に設定しても、JIS78 の旧 JIS 文字字形にはなりません。
エミュレーション設定 ２０１Ｈ設定 スペース動作	《Ｈ　スペース動作》 ＊しない する	スペースコード（20h）を文字して扱うか否がを設定します。	

付録2. メニュー階層と設定概要一覧

メニュー項目	設定概要
［機能設定メニュー］	
テスト印刷・レポート	プリンター内の管理情報表示・印刷を行います
プリンター管理・調整	プリンターの調整・管理情報設定を行います
インターフェース設定	外部と接続するインターフェースの設定を行います
用紙設定	印刷用紙に関する設定を行います
印刷設定	印刷条件の設定を行います
機器設定	プリンター内の搭載機器の設定を行います
エミュレーション設定	エミュレーション機能の設定を行います
［テスト印刷・レポート］	
機器情報印刷	機器情報の印刷を行います。（ステータスシート印刷、カウンター印刷、ネットワーク印刷）
機器状態表示	機器情報の表示を行います。（ネットワーク設定情報表示、機器本体情報表示）
印刷枚数表示	印刷枚数を表示します。（カラー印刷枚数、モノクロ印刷枚数）
［プリンター管理・調整］	
交換部品初期化	定期交換部品を交換した場合に実行します。（定着ユニット、転写ベルト、廃トナーボックス）
印刷位置調整	給紙口毎、表面／裏面毎に印字位置を調整します。
キャリブレーション	自動補正を強制実行します。（レジスト補正、濃度補正）
自動補正値初期化	自動補正値を初期化します。（レジスト補正、濃度補正）
定着速度補正	定着器の速度補正を行います。
ぶれ補正	（定着ユニットにおける用紙搬送速度を補正する機能です。定着ユニットや転写ベルトユニット
長尺紙後端部補正	を交換した時に、画像後端ぶれや、長尺紙での印字擦れなどが発生した場合、本機能で調整す
チャート印刷	ることができます。また、ブレ補正をやり過ぎて色ずれが生じた場合も本機能で修正できます。）
レジスト補正	レジスト補正を自動で行うかを設定します。
濃度補正	濃度補正を自動で行うかを設定します。
印刷濃度	ＣＭＹＫの濃度を微調整する場合に設定します。
消耗品予告	トナー・ドラム等の予告エラー時の動作を設定します。
警告エラー解除	警告エラーを自動解除するかを設定します。
予告エラー解除	予告エラーを自動解除するかを設定します。

メニュー項目	設定概要
［機能設定メニュー］	
［プリンター管理・調整］	
期初日	ログ収集で必要な期初日を設定します。
特定ユーザー設定	複数のコンピュータで同一（共通）のユーザー名を利用している場合に設定します。
特定ユーザー解除	特定ユーザーの設定を解除します。
初期化	設定内容等を工場出荷値に戻します。（設定１～３、エコログ、スケジュールログ）
［インターフェース設定］	
通信速度	ＬＡＮ通信速度を設定します。（自動、100M 全二重、100M 半二重、10M 全二重、10M 半二重）
通信方法	ＬＡＮ通信方法を設定します。（メモリー、RARP、BOOTP、DHCP）
ＩＰアドレス	ＩＰアドレス、ゲートウェイ、ネットマスクを設定します。（通信方法「メモリー」時のみ設定可）
ポート切換え時間	インターフェース（ＬＡＮ・ＵＳＢ）の受信自動切り換え時間設定を設定します。
機器状態応答（ＵＳＢ）	ＵＳＢ接続時の機器状態応答を設定します。（ＵＳＢ接続時のみ有効）
受信データチェック	受信データチェック行うか否かを設定します。
［用紙設定］	
給紙口選択	印刷する給紙口を選択します。
自動給紙口対象	自動給紙の対象となる給紙口を選択します。
自動用紙サイズ	自動給紙時の用紙サイズを設定します。
ＭＰＦ２通紙動作	MPF2 給紙時の通紙サイズを設定します。
ＭＰＦ１用紙サイズ	MPF1 の用紙サイズを設定します。
ＭＰＦ２用紙サイズ	MPF2 の用紙サイズを設定します。
Ｆｒｅｅ用紙	不定形の用紙サイズを設定します。
ユーザー定義用紙	ユーザー定義用紙を設定います。
紙種	給紙口毎の紙種を設定します。
普通紙	普通紙に対する定着温度を設定します。
厚紙	厚紙に対する定着温度を設定します。
ＭＰＦクリーニング	MPF に対するクリーニング動作の設定をします。

メニュー項目	設定概要
［機能設定メニュー］	
［印刷設定］	
両面印刷	両面印刷に関する設定を行います。
印刷形態	両面印刷する／しないの設定と両面印刷時の綴じ位置を設定します。
自動片面	最終ページの裏面に印字データ無い場合に、自動的に片面印刷するかどうかを指定します。
カラー印刷	カラー印刷を行うかどうかを指定します。
エコノミー印刷	エコノミー印刷に関する設定を行います。
トナーセーブ	トナー消費量を減らした印刷を行う場合に設定します。
エコノミー印刷／枚数	画像がモノクロの時、自動的にモノクロモードで印字する機能(エコノミー印刷)を設定します。
縮小印刷	縮小印刷の設定をします。
用紙方向	印刷時の印刷方向（ランドスケープ／ポートレート）を設定します。
リバース印字	１８０度回転させて印刷する場合に設定します。
印刷部数	印刷部数を設定します。
コピーガード	使用するコピーガードパターンを設定します。
ＩＤ印刷	用紙四隅にＩＤ情報を付加して印刷するかどうかを設定します。
エコレベル印刷	エコレベルを示すマークを印刷するかどうかを設定します。
付加情報印刷	ＩＤ印刷／エコレベル印刷に関する設定を行います。
印刷位置	ＩＤ印刷／エコレベル印刷の印字位置（印刷領域外／印刷領域内）を設定します。
印刷濃度	ＩＤ印刷／エコレベル印刷の印刷濃度を設定します。
割り込み印刷	割込印刷を行うかどうかを設定します。（ＨＤＤ搭載時のみ有効です。）
認証ジョブ保存期間	認証印刷時ＨＤＤに保存される認証ジョブの保存期間を設定します。
ＪＡＭリカバリー	用紙ＪＡＭ時にリカバリー印刷を行うかどうかを設定します。
白紙節約	白紙ページを印刷するかどうかを設定します。
M／Mカラー指定	モノクロモード時のカラーデータのグレースケール変換方法を指定します。

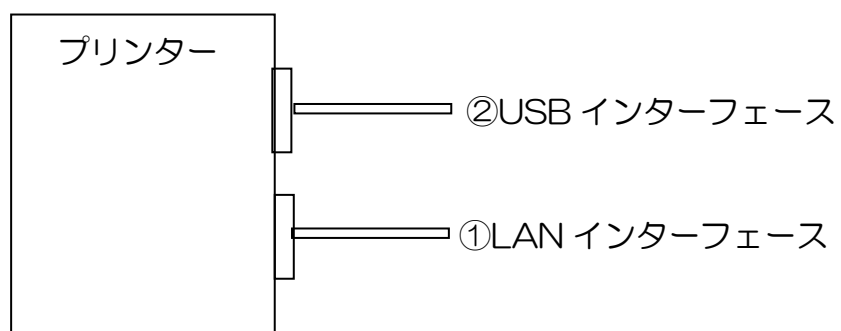
メニュー項目	設定概要
［機能設定メニュー］	
［機種設定］	
ブザー音量	ブザー音量設定（５段階）を設定します。
ＬＣＤ濃度調整	ＬＣＤの濃度を調整します。（２１段階）
節電	節電に関する設定を行います。
形態	節電スケジュール機能の有効／無効を設定します。
レベル	節電の度合い（レベル１：通常レベル、レベル２：最大レベル）を設定します。
移行時間	節電状態に入るまでの時間を設定します。（「節電スケジュール機能無効」の場合に有効）
自動電源ＯＦＦ	利用（監視）しているコンピュータが無い場合、自動的に電源ＯＦＦする場合に設定します。
強制電源ＯＦＦ	強制的に電源ＯＦＦする時刻を設定します。
立ち上げモード	プリンターをモノクロモードで立ち上げる場合に設定します。
低稼働音モード	印刷速度を抑制し、動作稼動音を低減するモードを設定します。
日付と時間	日付と時計を設定します。
ハードディスク	ハードディスクの「フォーマット」「データチェック」を行うことができます。
ＩＣカードの種類	ＩＣカードの種類を設定します。
［エミュレーション設定］	
エミュレーション	エミュレーションを設定します。
エミュレーション詳細	エミュレーションの詳細表示を行ないます。

付録３. 複数のインターフェース使用時の運用について

本プリンターでは、標準で２口のインターフェース（LAN、USB）を装備しています。

インターフェースの自動切り替え

２つのインターフェースからのデータ受信を自動的に排他制御し、先に受信したインターフェースからのデータを印刷します。
受信しているインターフェースからの印刷が完全に終了した後、ポート切換え時間（タイムアウト時間）を経過すれば、ほかのインターフェースからのデータ受信が可能となります。
ポート切換え時間（タイムアウト時間）は、設定メニューの「インターフェース設定」→「ポート切換え時間」で設定できます。

例）ポート切換え時間（タイムアウト時間）を、３０秒に設定した場合

LAN インターフェース側①からデータを受信し、印刷を行います。
処理データがなくなり印刷が完了後

↕ ３０秒間（ポート切換え時間）経過
（この間は、LAN のみ受信待ち）

LAN、USB 両方のインターフェース①②が受信待ちになります

お問い合わせ窓口

製品の修理・メンテナンスに関するお問い合わせ

修理の内容・方法・期間・費用など詳しくは下記までお問い合わせください。

0570-033066　携帯電話・PHS 等をご利用の場合　048-233-7243

製品の機能設定方法・ソフト障害に関するお問い合わせ

0570-066044　携帯電話・PHS 等をご利用の場合　048-233-7232

カシオテクノ株式会社　カスタマーコンタクトセンター
<受付時間>月曜日～土曜日　AM9:00～PM5:30（日･祝日･年末年始･夏期休暇等を除く）

消耗品やオプションのご購入に関するお問い合わせ

お買上の販売店および弊社営業所までお問い合わせください。

お客様サポートホームページ　http://casio.jp/support/ppr/

SPEEDIA GE5000シリーズ

ユーザーズマニュアル　設定メニュー編

2010年9月24日　第2版発行

カシオ計算機株式会社
〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2
カシオ電子工業株式会社